

領域・小問ごとの分析	対策の視点
<p>5. 正六角形の作図 正答率は72%で、よく理解されているが誤答の中に、円周の6等分と中心角の大きさの関係が明確になっていないと思われるものがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 正答率が高いが、円周の6等分と中心角の関係は丁寧に指導することが大切である。
<p>領域③(図形)について 図形の平均正答率は、60%である。図形の性質は、作図や実測を通して理解させることが大切である。そのためには、学習用具のコンパス、分度器、三角定規をフルに活用し、理解を助けるようにしなければならない。</p>	
領域・小問ごとの分析	対策の視点
<p>④ 数量関係 1. 逆算を利用し方程式を解く 正答率は74%で、よく理解されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> $12 \times x$を一つの数として見るよう留意する。
<p>2. 百分率を求める 正答率は29%と、かなり低い。150人中の12人は何パーセントに当たるかの問題である。 割合概念がよく理解されていないこと、百分率の求め方が理解されていないことが低い原因になっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 割合は、児童にとって理解しにくい内容である。割合指導では、全体の量、割合に当たる量、割合の三つの関係を丁寧に扱うことが大切である。
<p>3. 二つの数量の間の関係 (1) $a \times 4 = b$で、bを知ってaを求める。 正答率は68%で、大部分の者は理解しているが、文字に数を代入し、式の値を求めることには、抵抗がみられる。 (2) $a \times 4 = b$でaが1ずつ増加すると、bはどれだけ増加するか。正答率は61%である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 初めは、aとbの対応表などを手がかりに指導し、式からも直接求められるようにしたい。 対応表を作り、変化の割合が具体的にとらえられるようにする。